

## ホイールナットの点検時の注意事項について

ディスクホイールやホイールナットの交換後及びタイヤローテーション後は、初期なじみによりホイールナットの締付け力が低下します。当社取扱説明書に記載しております通り約 20km 程度走行後、規定トルクで増し締めを行ってください。

ホイールナットは運行3ヶ月・12ヶ月の各定期点検時に規定トルクで締め付けるよう求められています。(注1)

ホイールナットの緩みや締め過ぎは、ボルトの折損やディスクホイールの亀裂につながりますので十分注意して点検作業時を行ってください。(注2)

ホイールナットが緩んだ場合、ホイールが微動しボルト穴周りの負荷が増大します。微動によりホイールやハブが摩耗すると接触面が不均一となりホイールディスクの強度を著しく低下させます。

インパクトレンチを使用して締め付ける場合は、約 500N・mまでとして最後はトルクレンチを使用して取扱説明書の規定トルクまで締め付けてください。

(例) ホイールナット締付けトルク：568～627N・m (58～64kgf・m) の場合  
体重 60kg の人が 1m のパイプを使い体重をかけて締め付けると 60kgf・m となることを目安に  
お願いします。

(注1) 自動車点検基準等につきましては、下記の国土交通省ホームページを参照ください

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090314\\_2\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090314_2_.html) (掲載は予告無く変更となることがあります)

(注2) 保守点検作業に係る詳細は、機械に付属している取扱説明書を参照願います

(例)

